

学生と社会人が共に学び、
学生の成長と社会人の知識・スキルを高める

KITリカレント教育プログラム

社会人共学者

後学期

申込期間 (8/19~12/20)

受講者 募集

金沢工業大学では、「自ら考え行動する技術者」の育成を教育目標に掲げ、2016年度より「世代・分野・文化を超えた共創教育」を実践しています。学生は、正課授業・課外学習を企業の技術者等と共に取り組むことで、幅広い知見やコミュニケーション能力を修得しています。

金沢工業大学「社会人共学者」とは、社会で活躍している社会人の方に授業に参画していただき、学生たちに実際の社会の状況や話題提供をするなどの支援を行い、さらにイノベーション創出に向けて自らも目的・目標をもち、世代を超えて学生と共に意欲的に学べる取組です。

社会人が学生・教員と共に学びあう「KITリカレント教育」

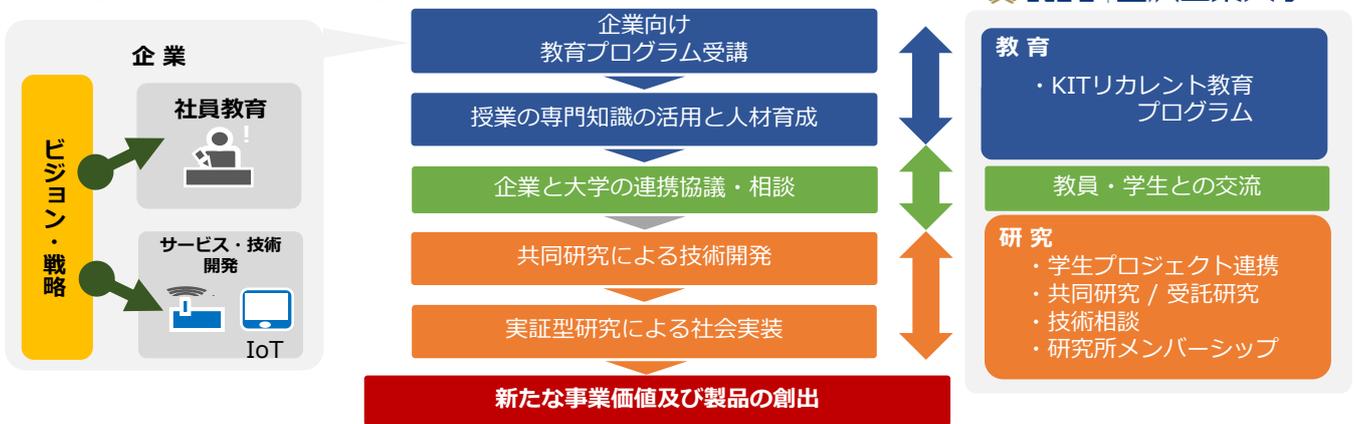
Society5.0社会の実現に向けた金沢工業大学のリカレント教育は、社会人が学生や教員と共に学びあい、企業ニーズに対応した大学教育による知識の習得に加え、学生・教員とのネットワークづくりと習得した知識を活用した共同研究・開発による企業の成長をサポートします。



■ 産学連携への流れ

教育プログラムによる知識の習得に加え、企業および社会の課題に関する学生・教員とのディスカッションを通じて、新たな発想を創出する場をご提供いたします。また、その発想を社会実装する産学連携についても支援いたします。

「社員教育」と「サービス・技術開発」におけるKITの活用方法



産学連携については研究支援推進部にお気軽にご相談ください

wwwr.kanazawa-it.ac.jp

■ 主なKITリカレント教育プログラム

企業の社員向けにスキルアップのニーズに対応した多数の教育プログラムをご用意しております。組織として、または個人として受講することができます。

(受講資格や受講料はプログラムごとに設定されています。募集要項等につきましては、以下のURLからご確認ください。)

法人対象

- 社会人共学者
- 情報技術教育プログラム
- 組織活性化と倫理プログラム
- DXリスキル教育プログラム

個人対象

- 社会人対象大学院 (修士課程) 1年制
- イノベーションマネジメント科目等履修生
- プロフェッショナルミーティング
- 原著から本質を学ぶ科学技術講座
- DXリスキル教育プログラム



詳しくは、KITリカレント教育プログラムHPをご覧ください www.kanazawa-it.ac.jp/rec

必ずお読みください

金沢工業大学「社会人共学者」とは、社会で活躍している社会人の方に授業に参加していただき、学生たちに実際の社会の状況や話題提供をするなどの支援を行い、さらにイノベーション創出に向けて自らも目的・目標をもち、世代を超えて学生と共に意欲的に学べる取組です。本取組は授業運営の協力者を求めるものです。ご理解とご協力をお願いします。

社会人共学者に求める役割 (例)

- ・ 学生とのディスカッション
- ・ 学生発表の評価
- ・ 科目と社会とのつながりに関する社会人共学者による講話
- ・ 共同研究、プロジェクト内での知識・技術の活用事例紹介 など

プログラム名	社会人共学者
対象期間	2024年度 後学期 (2024年9月26日(木)~2025年1月27日(月))
対象科目・募集定員	科目一覧 を参照してください。
参加条件	1. 企業や自治体・団体等にお勤めの方、本学の卒業生の方 2. 自らも目的・目標を持ち、意欲的に授業に参加することができ、学生と共に研鑽する意欲がある社会人の方 3. 授業の進行に応じて、学生に対して社会の状況や話題提供できる方 4. 科目ごとに必要なスキルが指定されている場合は、その要件を条件とします。(詳細は科目一覧を参照)
受付期間	2024年8月19日(月)~12月20日(金) 【この期間内で 参加授業回の2週間前まで にお申し込みください。】
申請方法	期日までに ウェブサイト から「申請書」をご提出ください。(8月19日(月)より受付開始) 本学卒業生の方が参加される場合、所属企業からの 推薦は不要 です。
書類審査・面談	申請書による書類審査と、科目担当教員との面談を行います。
参加許可通知	申請書に記載いただいたメールアドレス宛に通知します。
オリエンテーション	オンラインで随時開催(詳しくは申請書へ記載いただいたメールアドレス宛に通知します)
参加費	無料
単位認定/修了認定	単位認定/修了認定はありません。
注意事項	各科目において、履修希望者が5名未満の場合は開講しない場合があります。申し込み前に、「参加にあたっての注意事項」(下記)をご確認ください。



■ 参加にあたっての注意事項

- ・ 「社会人共学者」は、単位修得や専門知識の修得を目的とする本学学生及び科目等履修生とは異なります。単位修得や専門知識の修得を目的とする場合は、別途「科目等履修生」や「情報技術教育プログラム」をご利用ください。
- ・ 社会人の積極的な授業参加が、学生と社会人の双方にとって効果的な学習環境となりますので、ご協力をお願いします。
- ・ 学生が受講する本学の正課授業に参加します。1コマの授業は100分です。
- ・ 祝日等の関係で、金曜日に火曜日の授業が行われるなど、授業開講曜日を変更している場合があります。(参照：パンフレット末尾)
- ・ 遅刻、早退は認められません。また、授業中は、携帯電話及びスマートフォンの電源はお切りください。
- ・ 授業で使用する教科書の購入は任意です。購入については教員と面談時にご相談ください。
- ・ 授業に関する録音、撮影は原則禁止です(教員によるオンライン会議ツールの録画は除く)。また、提示資料および配布資料には著作権があります。許可無く対外的に配布しないでください。
- ・ 担当教員の都合によりやむを得ず「休講」となる場合があります。当日の休講に関する連絡については、教務課からメールにてお知らせします。なお、休講となった場合は「補講」があります。補講の日時については担当教員に確認してください。
- ・ 遠隔授業においては、事前に通信環境や接続状況の確認をしてください(通信環境設備、通信費は各自でご負担ください)。通信障害・不具合等により参加ができない場合は、担当教員または社会人共学者窓口までお知らせください。
- ・ 授業前に設定が必要なアプリケーションソフトウェア等がある場合は、授業開始前に担当教員よりメール等でご連絡します。
- ・ 授業中にアンケート調査を実施する場合があります。
- ・ 授業中に広報用および記録用に一部カメラ撮影等が入る場合があります。
- ・ 同一年度中に履修できる科目数は12科目以内です。

社会人共学者
■ 科目一覧 2024年度 後学期 (2024年9月26日(木)~2025年1月27日(月))

(表の見方) 参加可能科目ごとに、参加の際の注意事項を示しています。お申込み前にご確認ください。

No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
-	-	科目名を確認してください。また、講義概要等を記した「シラバス」をあらかじめ確認してください。	ご協力いただきたい役割です。詳しくは、オリエンテーションでご案内いたします。	授業内容に関連するキーワードです。	受入可能人数	参加に必要な知識などを示しています。お申し込みの際の参考にしてください。	科目を担当する教員名	希望する曜日時限を選択してください。例えば、「月1、月3」は月曜1限または月曜3限の2クラス開講していることを示します。「月1-2」は月曜1限と2限に実施されることを示します。	「時限」のうち参加できる授業回数です。都合の良い回にご参加ください。

- 1時限 8:40~10:20
- 2時限 10:35~12:15
(昼休み 12:15~13:15)
- 3時限 13:15~14:55
- 4時限 15:10~16:50
- 5時限 17:05~18:45

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

※授業曜日について、巻末の「授業スケジュール」を確認してください。

■ 英語教育分野

No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
1	1年	イングリッシュトピックス2	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	会話 (Speaking) 聴解 (Listening) 読解 (Reading)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月2、月3、月4 火1、火2、火4 水1、水2、水3 木1、木3、木4 金1、金2、金3、金4 面談時に上記時限から選択	全15回 ※対面
2	1年	イングリッシュトピックス4	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	会話 (Speaking) 聴解 (Listening) 読解 (Reading) 語彙と文法 (Vocabulary and Grammar)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月2、月3、月4 火1、火2、火4 水1、水2、水3 木1、木3、木4 金1、金2、金3、金4 面談時に上記時限から選択	全15回 ※対面
3	1年	ビジネスコミュニケーション1	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	ビジネス英語 (Business English) 会話と聴解 (Speaking and Listening) 読解と記録 (Reading and Writing) 発表 (Presentation) デジタルリテラシー (Digital Literacy)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月2、月3、月4 火1、火2、火4 水1、水2、水3 木1、木3、木4 金1、金2、金3、金4 面談時に上記時限から選択	全15回 ※対面
4	1年	アカデミックリーディング1	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	精読 (Intensive Reading) 語彙 (Vocabulary) 聴解 (Listening) 話す (Speaking) 発表 (Presentation)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月2、月3、月4 火1、火2、火4 水1、水2、水3 木1、木3、木4 金1、金2、金3、金4 面談時に上記時限から選択	全15回 ※対面
5	1年	STEMイングリッシュ	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	会話/聴解 (Speaking/Listening) 読解/記録 (Reading/Writing) STEM CLIL Collaborative Competence	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月2 火1、火2 木2 面談時に上記時限から選択	全15回 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 数理・データサイエンス・AI教育課程

No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
6	1年	データサイエンス物理	教室での学生グループによる物理測定実験への参加またはその補助	運動方程式 仕事 力学的エネルギー 回転運動 剛体の運動	10名程度	高校卒業程度の物理の知識	田中 忠芳	金3	5または10回目 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 機械工学									
No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
7	2年	計測工学	科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	トレーサリディ 不確かさ 信号変換 センサ	5名程度	特になし	高野 則之	火 2	1または7回目 ※対面・オンライン併用

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 電気電子工学分野									
No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
8	2年	高電圧パルスパワー工学	科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	電界強度 絶縁破壊前駆現象 絶縁破壊現象 高電圧発生装置 高電圧応用装置	無制限	放電式オノン発生装置や表面処理装置など、大気圧環境下での放電プラズマ応用製品に関する業務に携わっており、高電圧工学や放電現象の基礎を学び直したい方。授業は対面授業のライブ中継となります。	大澤 直樹	月 4、金 4	小テストや試験 以外の授業 相談により決定 ※オンラインのみ
9	2年	情報通信システム	社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	情報通信技術 有線通信 無線通信 データ通信 ネットワーク	無制限	通信方式でキャリア通信に関するサーベイです。外部講師による特別講義となります。	横谷 哲也 野口 啓介	月 4	面談時に相談 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 環境土木工学分野									
No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
10	3年	環境土木専門実験・演習A	グループディスカッションへの参加 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	構造力学 土質力学 鉄筋コンクリート工学 実験 演習	5名程度	鉄筋コンクリートはりの挙動	木村 定雄 宮里 心一 花岡 大伸 高原 利幸	火 3、火 4	面談時に相談 ※対面
11	3年	環境土木専門実験・演習B		空間情報工学(DX) 水理学 鉄筋コンクリート工学(GX) 実験 演習			宮里 心一 徳永 光晴 有田 守 花岡 大伸		

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ メディア情報分野									
No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
12	3年	メディア情報専門実験・演習B	科目と社会・企業との関連性の紹介 グループディスカッションへの参加 自社の課題の説明 発表等への講評 社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	PC組み立て LAN構築 Physical Computing センサー	3名程度	特になし	高野 佐代子 千石 靖 平野 徳之	金 3、金 4	1回～複数回

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 経営分野									
No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
13	1年	経営戦略と組織	科目と社会・企業との関連性の紹介 グループディスカッションへの参加 自社の課題の説明 発表等への講評 社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	Management Strategy Marketing ITパスポート	無制限	特になし	松林 賢司	金 3	全15回 ※対面
14	2年	マーケティング戦略	科目と社会・企業との関連性の紹介 グループディスカッションへの参加 自社の課題の説明 発表等への講評社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	マーケティング調査&戦略 Needs、STP、4P ブランディング 地域志向・地域連携 社会との共創	無制限	特になし	松林 賢司	月 3	全15回 ※対面
15	3年	マーケティング実践	科目と社会・企業との関連性の紹介 グループディスカッションへの参加 自社の課題の説明 発表等への講評社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	最先端 (DX)マーケティング ケーススタディ フィールドワーク (実験) 地域志向・地域連携 社会人との共創	無制限	特になし	松林 賢司	金 4	全15回 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 心理科学分野

No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
16	2年	健康・医療心理学	グループディスカッションへの参加 社会人によるプレゼン 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	ストレス 保健活動 健康 医療現場 予防	無制限	ストレスや健康に関する知識、心理的支援に関して学びます。学生には気づきにくい社会人特有のストレスや、職場環境の改善に関する視点などを可能な範囲でご紹介ください。	伏島 あゆみ	水 2	小テストや試験以外の授業 面談により決定 ※対面・オンライン併用 ※対面者多数の場合、要相談
17	大学院	心理療法特論Ⅲ (心理支援に関する理論と実践)	グループディスカッションへの参加 発表等への講評 社会人の意欲的な学習姿勢による授業の活性化	精神分析理論 来談者中心療法 認知行動療法 アセスメント 介入計画	6名程度	原則として、公認心理師もしくは臨床心理士の有資格者を対象とします。主に認知行動療法の理論と実際について、座学、実習、および、文献事例検討を通して学びます。現在、心理支援に携わっており、今後、認知行動療法の実践を目指す方のご参加をお待ちしています。	松本 圭	水 3	全 15回 ※対面
18	大学院	臨床心理地域援助特論	科目と社会・企業との関連性の紹介 グループディスカッションへの参加	コミュニティ心理学 地域連携 危機理論 コンサルテーション 地域の健康と法律	6名程度	地域等での対人援助に関するボランティア活動に従事している方や、その経験がある方が対象です。コミュニティ心理学に関する用語や概念の学生の発表に対して、質疑をさせていただいたり、ご自身の経験からの意見を述べていただくことが役割です。	塩谷 亨	木 2	全 15回の内 1.0回程度 ※オンライン
19	大学院	産業・組織心理学特論	科目と社会・企業との関連性の紹介 グループディスカッションへの参加	労働者の精神健康の関係法規 産業・組織心理学の基礎用語 キャリア形成 ストレスマネジメント 仕事とウェルビーイング	6名程度	企業におけるメンタルヘルスに関わる活動に携わっている方、あるいはその経験がある方（人事、総務、マネジメント等の職務）が対象です。学生にとって、現場の「生の声」を聞くことで学習内容がより具体的にイメージしやすくなるとともに、社会人共学者にもご自身のご経験をアカデミックな観点から整理することができます。	塩谷 亨	水 1	全 15回の内 1.0回程度 ※オンライン

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 建築分野

No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
20	1年	建築構造力学Ⅰ	科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人によるプレゼン・講話	梁 トラス、ラーメン 反力と断面力 応力度 地域連携	無制限	特になし	山岸 邦彰 佐藤 弘美	月 1、月 2	全 15回の内 複数回 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ バイオ・化学分野

No	年次	科目名 (シラバス)	社会人共学者に求める役割	授業のキーワード	人数	参加に必要な知識、学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
21	2年	微生物学	科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人によるプレゼン・講話	微生物の取扱い方 微生物の種類と細胞構造 微生物増殖と代謝 微生物の遺伝と遺伝子工学 環境問題と地域連携	3名程度	高校生物基礎程度の予備知識もしくは、業務で微生物に関わる内容に携わっているまたは、携わる予定の方。	袴田 佳宏	木 1	全 15回 ※対面

■ 科目の詳細情報「学習支援計画書（シラバス）」について

お申込みの前に、学習支援計画書（シラバス）を必ずご確認ください。科目の参加条件およびご自身の参加目的に即した科目を選択してください。

シラバスには、授業科目の学習・教育目標等が記載されており、下記のシラバス検索システムURLより確認できます。

- 授業科目の学習・教育目標
- 達成度評価
- 授業の概要および学習上の助言
- 評価の要点
- 履修に必要な予備知識や技能
- 具体的な達成の目安
- 学生が達成すべき行動目標
- 授業明細表（各回の講義概要）

シラバス検索システム URL

学部 https://x.gd/kit_b_syllabus 大学院 https://x.gd/kit_gr_syllabus

The screenshot shows the KIT syllabus search system interface. It includes a search bar, a list of courses, and detailed information for a selected course, 'Disaster Prevention Engineering I'. The details include course name, credits, and a list of learning objectives.

■ 授業スケジュール【2024年度 後学期 授業スケジュール】

- ・前項「科目一覧」と合わせて科目別の授業日時を確認してください。
- ・大学では1学期間を15週に分けて授業を実施しています。

XX
月1 = 月曜授業日 第1週目
 XX
★O1 = 曜日変更授業日（実際の曜日と異なって授業が開講されます。例：10月17日(木)は月曜日の授業があります。）

2024年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25	26 木1	27 金1	28
29	30 月1					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2 月9	3 火9	4 水10	5 木10	6 金10	7
8	9 月10	10 火10	11 水11	12 木11	13 金11	14
15	16 月11	17 火11	18 水12	19 木12	20 金12	21
22	23 月12	24 火12	25 水13	26 ★金13	27 大学休業	28 大学休業
29	30 大学休業	31 大学休業				

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1 火1	2 水1	3 木2	4 金2	5
6	7 月2	8 火2	9 水2	10 木3	11 金3	12
13	14 スポーツの日	15 火3	16 水3	17 ★月3	18 大学休業	19
20	21 大学休業	22 火4	23 水4	24 木4	25 金4	26
27	28 月4	29 火5	30 水5	31 木5		

2025年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1 元日	2 大学休業	3 大学休業	4 大学休業
5	6	7 火13	8 ★月13	9 木13	10 金14	11
12	13 成人の日	14 火14	15 水14	16 木14	17 大学休業	18
19	20 月14	21 火15	22 水15	23 木15	24 金15	25
26	27 月15	28	29	30	31	

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1 金5	2
3 文化の日	4 振替休日	5 ★月5	6 水6	7 木6	8 金6	9
10	11 月6	12 火6	13 水7	14 木7	15 金7	16
17	18 月7	19 火7	20 水8	21 木8	22 金8	23 勤労感謝の日
24	25 月8	26 火8	27 水9	28 木9	29 金9	30

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1
 社会人共学窓（共創教育推進室・教務課）
 電話 076-294-6743（共創教育推進室）
 Mail [kyougaku\[at\]mlist.kanazawa-it.ac.jp](mailto:kyougaku[at]mlist.kanazawa-it.ac.jp)
 URL <https://www.kanazawa-it.ac.jp/cocreator/>

産学連携に関して（研究支援推進部）
 TEL 076-294-6740
 お問い合わせ先 <https://forms.office.com/r/d2gf610cwc>
 URL <https://www.kanazawa-it.ac.jp/>

